

STORE EVOLUTION



お客様とアリガをつなぐコミュニケーション情報誌

特集

STORE IMPACTS !!

✓ 今、注目すべき店舗

びっくり市 利府店(宮城県)

えぶろん リブレ元宮店(愛知県)

✓ エネマネ事業者活用補助金で投資額の1/2の補助金採択

- ・実績店:『A・コープ白馬店』
- ・実績店:『ファミリーストアさとう国府店』
- ・実績店:『ヤマダイうばこ店』
- ・実績店:『ぎゅーとらラブリー藤里店』
- ・実績店:『ビス鷹宮』
- ・アリガ平成30年補助金採択実績



金・土・日 3日間のみの営業と対面販売による効率運営 びっくり市 利府店

宮城県宮城郡利府町神谷沢字長田70番地2



開店日：平成24年11月 売場面積：1,500㎡
営業時間：AM9:30～PM7:00 駐車場台数：172台
※株式会社野川食肉食品センターは、山形県内10店舗、宮城県内2店舗を展開しています。

お客様の要望から生まれた、金土日のみの営業スタイル。

びっくり市を運営する株式会社野川食肉食品センターは、当初は肉類の卸のみを生業にしていたと言う。後日、土曜に社内勉強会を開いていたところ、近所の主婦から「肉を分けてほしい」とお願いされ、それが小売進出のきっかけとなっていく。元が卸なので、他店と比べれば圧倒的に安い。それが評判となり、

については、他ではなかなか手に入らない部位まで取りそろえ、時代の要請に応じているという。ちなみにこれらの羊肉は、びっくり市のバイヤー自身がオーストラリアへ出向いて買い付けている。

また、東南アジアの人々が好む鶏の足(モミジ)は、他店には無くてもびっくり

市では取り扱っており、それを求めて最近外国人客も増えてきたという。外国人数は今後の増加が予測されていることから、びっくり市では勝機が潜んでいると判断し、品揃えに反映させていく方針だ。もちろんそこには創業以来育んできた「お客様第一」の精神が貫かれている。

挑戦と継承で、さらなる飛躍を図る。

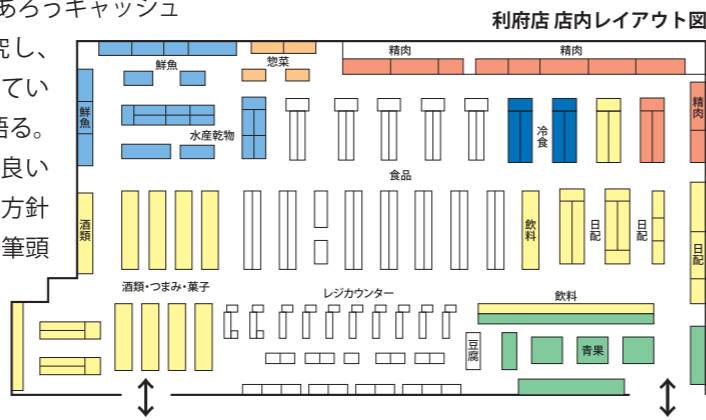
今ではスーパーマーケットでよく見かけるようになったセルフレジだが、7年前に初めて宮城県内に導入したのは、実はびっくり市だった。

いち早く新しいことにチャレンジする社風は現在に引き継がれており、今後は近い将来に訪れるであろうキャッシュレス決済について研究し、

他店に先駆けて対応していきたい、と野川社長は語る。

一方、時代を経ても良いものは引き継いでいく方針です、と野川社長。その筆頭が、昔ながらの対面販売だ。これだけ多くの商品アイテムをパック販売していたら、と

ても今の売上数字には届かない。対面販売で、その時期しか入手できない部位をタイムリーにアピールするなど、お客様とのコミュニケーションが大いに図られているからこそ、売上数字と共に信頼の値も高まっているのだろう。



月～金が卸、土日が小売というスタイルが続く。すると周辺の業務店からも買い付けに来るようになり、土日の営業用に仕入れたいので金曜も小売に応じてほしいと懇願され、かくして現在の金・土・日営業スタイルが出来上がった。

しかし、びっくり市の強みは安さだけではない。卸で培った仕入れのネットワークは商社経由で世界各地に及び、その品揃えはまさに「無いものはまず無い」と言えるほど充実している。たとえば昨今のヘルシー志向で注目されている羊肉



仙台名物の牛たんは、厚めのものからタテ切りステーキまで様々な種類が並ぶ。なかでも牛たん1本から3枚取れるか否かという高級部位の「芯たん」は、1.5cmの厚みがあっても柔らかい食感が楽しめ、人気を博している。



ラムの肩肉を結着した「キャノンロール」は、他店ではなかなかお目にかかれない、直径15cmのビッグな商品だ。バーベキューやステーキ用にぴったりで、好みの厚さを指定すればその場で加工してくれる。



口の中でとろける食感が楽しめる豚テール。ポイルしたものや味付け済のものなどがあり、電子レンジで温めれば手軽に食べられる。コラーゲンが豊富に含まれていて、女性におすすめだ。



青果売場のコンセプトは、「単品量販」。ひとつのものを大量に仕入れることで劇的な安さを実現している。ダンボールのまままで直置き陳列している商品も多く、まとめ買いのお客様に好評だ。



利府店の奥山店長イチオシの品が、「仙台牛らーめん」だ。このエリア以外ではまず手に入らない東北限定品で、仙台牛ならではのふくよかな味覚が楽しめる。地域限定品のなかでは、「山形の芋煮」も人気があるそうだ。



「男飯」シリーズは、ワンコインでボリューム満点の肉料理が楽しめるお弁当だ。胸肉を開いて食べやすい厚みに仕上げたチキンカツや味噌カツなど、びっくり市のメイン商材が肉であるからこそ可能なメニューと言える。

Voice

「お客様第一」の経営につながった5年間。

私は学校を卒業してから5年間、日本有数の結婚式場に勤めていました。多くの芸能人をおもてなしたほか、皇后美智子様へお飲み物をサービスしたこともあります。振り返ればその5年間でホスピタリティの基礎をたたき込まれたことが、「お客様第一」を貫く今の経営につながっていると感じています。私の好きなお肉は、赤身の山形牛ランプステーキです。旨みとやわらかさを併せ持っていて最高ですから、ぜひ皆さんもびっくり市でお買い求めください！

株式会社野川食肉食品センター 代表取締役 野川 喜弘 様



特集

品揃えと鮮度にこだわりファンを獲得 えぶろん リブレ元宮店

愛知県豊田市元宮町2-11



水揚げされた状態でディスプレイし、鮮度感をライブで味わいながら買物が楽しめるよう工夫された鮮魚売場。対面販売なので商品の情報を詳しく聞けるほか、調理のオーダーにも無料で対応している。



鮮魚売場に隣接している「お魚屋さんの寿司」コーナーでは、水産部門で仕入れた新鮮で分厚いネタを使用した各種寿司を提供。目の肥えたお客様にも大好評だ。



お惣菜のコンセプトは、「おいしいものをお値打ちに」。えぶろんでは自社プロセスセンターで一次加工したものをチルドで運び、店内で揚げるスタイルなので、常に揚げたての商品を提供できる。



青果市場の雰囲気を意識し、通路の両側にも商品をレイアウトして宝探的な楽しさを演出。コンテナを用いて低めに陳列することで、小柄な方でも奥まで見渡せるよう工夫されている。



えぶろんでは豊田市内で農業を営む生産者と提携し、店舗内に「地産市場」コーナーを設け販売をサポートしている。商品は、生産者自身が毎朝持ち込んで陳列するスタイルのため、鮮度は抜群だ。

日曜を定休日にすることで、皆の幸せに貢献していく。

愛知県豊田市は誰もが知る企業城下町で、人口は名古屋市に次ぐ県内2位の40万都市だ。二つ目の特集記事としてご紹介するのは、そうした豊田市を拠点に5店舗を展開するえぶろんフーズ株式会社(以下えぶろん)だ。

同社は、スーパーマーケットとしては異例とも言える「日曜定休」を実施している。その理由は、徹底した鮮度へのこだわりと、ES(Employee Satisfaction)への取り組みにある。

えぶろんでは、営業当日朝の仕入れを

らないといけない』というものだが、「日曜定休」は新鮮さを求めるお客様と従業員のどちらもが幸せになれる施策と言えるだろう。

えぶろんの鮮度へのこだわりは、独特の仕入れ方法にも現れている。一般的なスーパーマーケットでは担当バイヤーが全店用に一括仕入れを行うが、えぶろんでは各売場をあずかるチーフ自らが

バイヤーとなり、毎朝市場に足を運んで自らの五感で仕入れているのだ。さらにその日の相場に見合った価格で提供するため、同じ野菜でも店舗によって売値が異なるし、品揃えも違う。

えぶろん独自のこうした仕入れは、売場に責任感が生まれモチベーションアップにつながり、さらにはESの向上も期待できる優れた試みと言える。

独立採算方式で経費削減を目指す。

えぶろんでは2018年度を初年度とする中期経営計画を打ち出し、「楽しさ」「計画」「工夫改善」を3つの柱として、お客様に選んでもらえる店づくりを目指している。そうした経営方針のなかで特に注目されるのが、各店舗の各部門毎に独立採算方式を採用している点だ。各部門ではPL(損益計算書)の計算を任されており、おのずと管理会計への意識が高まっていると言う。

専務取締役の野田氏は、「これまで経費を考える習慣づけが手薄でしたが、PLに関わってもらうことで時間管理のコントロールにも良い影響が出ており、全店舗を通じて大幅な経費削減につながります」と話す。CGCの販売管理システムを

導入しているため、入力や分析がスムーズだったのも功を奏した、と野田氏は続ける。



通路テント

えぶろんには、常にお客様の利便性を考え、実行する風土がある。駐車場に設けられた通路テントもそのひとつで、降雨時にも雨に濡れることなく積み込みができると好評だ。そうした工夫の積み重ねが、5店舗で80億円の売上を超える実績に反映されているのだろう。



リブレ元宮店 全景

基本としているが、日曜は市場が休みとなるため仕入れが出来ない。それでは求める鮮度が担保できないと判断し、えぶろんでは土曜に売り尽くしを行い、日曜を定休にしているのだ。

この「日曜定休」は、従業員からも評価が高く、ESの向上につながっているという。同社の社是は『全ての人が幸せにな

Voice

テクノロジーの活用で、効率化を目指します。

私は前職で通信系のシステム開発に携わっていたので、その経験を活かし、えぶろん全店舗にグループウェアを導入して成果を確認しているところです。離れた店舗スタッフの予定を全員で共有できるなど、様々な用途が見込めるので今後の活用が楽しみです。他にもえぶろんカードからのビッグデータを活用した展開や、RPA(Robotic Process Automation)による自動化への取り組みなど、お客様との対話は大切にしながらも、最先端のテクノロジーにアンテナを向けて業務の効率化を推進していきたいと思っています。

えぶろんフーズ株式会社 専務取締役 野田 聡 様





「株式会社長野県A・コープ」は、長野県内に28店舗のスーパーマーケットを運営しており、地元産・県産・国産の商品を最優先で品揃えし、「JAのお店」として生産者と消費者がふれあえる、地域密着型の店づくりを目指している。特に、全店舗で展開している「生産者直売コーナー」では、地元の農家が直接店舗に持ち込んだ季節の野菜や果物が豊富に並び、地産地消を推し進めている。A・コープ白馬店は長野県の北西部、北アルプスのふもとに位置しウィンタースポーツや山岳リゾートが充実した地域にあり、アウトドア、業務用の食材も多く取り揃えている。また、畜産コーナーで販売されている「はくばの豚」は、地元白馬村で厳しい衛生管理のもと生産された豚肉で、ジューシーで味が良いと大好評の逸品である。

高山市は岐阜県の北部、飛騨地方の中央に位置し、東京都とほぼ同じ面積を有する日本一広大な市でありながら飛騨山脈に代表される自然に囲まれ、市の92.1%の面積を森林が占めている。「株式会社ファミリーストアさとう」は高山市に6店舗を展開する「地元のスーパーマーケット」。飛騨では冬は雪深く寒さが長く厳しい。その中で培われた郷土の味を豊富に取り揃え、地元のお客様に愛されている。「地元のスーパーマーケット」として飛騨らしさにこだわり、お客様とのふれあいを大切に「飛騨の食文化」「飛騨の家族」を守り続けている。



■省エネシステムのEMS表示・設定機器

A・コープ 白馬店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成30年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 Ⅰ.工場・事業場単位《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	A・コープ 白馬店の消費電力の削減及び地球環境負荷低減を目的とし、照明・冷蔵冷凍設備を高効率設備に置き換えエネルギー使用の合理化を図る。また、エネマネ事業者を利用し、継続的な省エネ・運用改善を行う事業である。		
省エネルギー率	27.9%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約78,634,000円	約73,697,000円	約36,848,500円



■あげづけをはじめ飛騨の名産品が並ぶ

ファミリーストアさとう 国府店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成30年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 Ⅰ.工場・事業場単位《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	ファミリーストアさとう 国府店の照明・空調・冷蔵冷凍設備を高効率設備に置き換え、エネルギー使用の合理化を図る。また、エネマネ事業者を利用し、継続的な省エネルギーに努める。		
省エネルギー率	27.8%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約69,027,820円	約64,711,320円	約32,355,600円



「株式会社スーパーヤマダイ」は、昭和28年(1953年)に創業し、名古屋市内に7店舗を構える食品を中心としたスーパーマーケットである。「お客様第一」主義の考えのもと、お客様の体に良いものをおいしく安全に食べていただけるように、地元にいるからこそ手に入る情報を生かし名古屋近郊をはじめ全国から「安全と安心、おいしさ、価格」にこだわった商品をお客様に届けている。地元のお客様にとって必要不可欠なスーパーマーケットである。

地元の人々には「とら吉くん」のキャラクターでおなじみの「ぎゅーとら」は、三重県伊勢市を中心に29店舗を展開する、南勢地区トップクラスの食品スーパーマーケットチェーンである。お客様とのふれあいを重視し、“食”を通じて地域社会への貢献に取り組む。こうしたぎゅーとらのスタイルは、創業当時から現在に至るまで、一貫して受け継がれている。ぎゅーとらがめざすのは「大きい」企業ではなく、地域のお客様に本当に喜んでいただける「愛される企業」。そこで品揃えの充実や楽しく快適な店づくりの工夫のほか、店舗の外にも活動の幅を広げ、お客様とのさまざまなコミュニケーションにも力を入れている。



■ヤマダイうばこ店 全景

ヤマダイうばこ店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成30年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 Ⅰ.工場・事業場単位《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	ヤマダイうばこ店の照明・空調・冷蔵冷凍設備を高効率設備に置き換え、エネルギー使用の合理化を図る。また、エネマネ事業者を利用し、継続的な省エネルギーに努める。		
省エネルギー率	26.4%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約74,534,000円	約67,931,400円	約33,965,700円

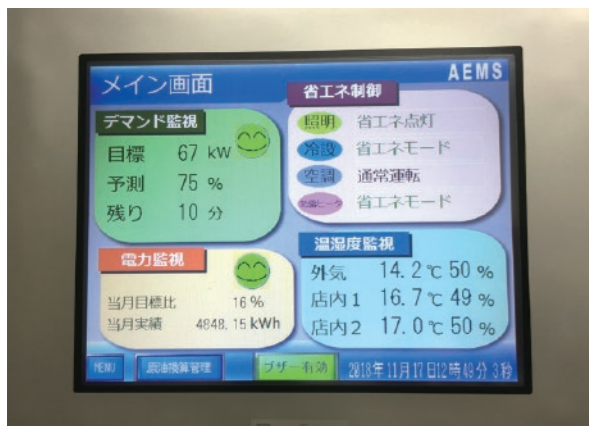


■ぎゅーとらラブリー藤里店 全景

ぎゅーとら ラブリー藤里店 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成30年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 Ⅰ.工場・事業場単位《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	ぎゅーとら ラブリー藤里店の照明・空調・冷蔵冷凍設備を高効率設備に置き換え、エネルギー使用の合理化を図る。また、エネマネ事業者を利用し、継続的な省エネルギーに努める。		
省エネルギー率	26.3%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約107,445,100円	約98,226,500円	約49,113,250円



「ビス鷹宮」は大阪市の南部の東住吉区に位置し、大阪を代表する商店街の一つ駒川商店街に隣接するスーパーマーケットである。60以上の個性ある商店・商人が、1つ屋根の下で軒をなした『鷹宮市場』が店舗の始まりで、以前と変わらない親しみのある対面接客販売を行い、昔ながらの商店街の雰囲気が残っている。お客様からは「店員さんたちの気持ちの良い挨拶のお店です。調理の仕方、旬の頃などを尋ねたら、親切丁寧に対応してくれる地元には欠かせないお店です」と大好評である。



■省エネシステムのEMS表示・設定機器

ビス鷹宮 省エネ補助金申請内容			
補助金種類	平成30年度： エネルギー使用合理化等事業者支援事業 エネマネ事業 I.工場・事業場単位《ア》+《ウ》		
導入設備/技術概要	株式会社アオイスサポートの経営する、ビス鷹宮の照明・空調・冷凍冷蔵設備を高効率機器に更新し、エネルギー使用の合理化を図る。また、エネマネ事業者を活用して、継続的な省エネルギーに努める。		
省エネルギー率	25.9%		
事業費(消費税別)	補助事業費	補助対象経費	補助金額
(補助率:1/2以内)	約66,066,000円	約62,693,000円	約31,346,500円

アリガ(エネマネ事業者活用等)申請支援による平成30年補助金採択実績

《対象の補助金》

平成30年度：エネルギー使用合理化等事業者支援事業

I.工場・事業場単位	申請数	577件	採択件数	356件	採択率	61.7%
II.設備単位	申請数	3,004件	採択件数	2,115件	採択率	70.4%

アリガ申請数

I.工場・事業場単位	申請数	25件	採択件数	21件	採択率	84.0%
II.設備単位	申請数	2件	採択件数	2件	採択率	100%

エネマネ事業者(エネルギー管理支援サービス事業者)とは

「エネマネ事業者」とは、工場・事業所において導入された、省エネルギーに寄与する設備・システムや、電力ピーク対策に寄与する設備・システムなどに対して、エネルギー管理システム(以下EMS)を用いて、エネルギー管理支援サービスを提供し、事業者と共同でより効果的な省エネルギー対策を実施する者として「一般社団法人環境共創イニシアチブ」(SII)に登録された事業者です。また、「エネマネ事業者」のEMSを導入し、エネルギー支援サービスを受けることで、最大 $\frac{1}{2}$ の補助金が交付されます。

I.工場・事業場単位

店舗名	所在地	建築面積	補助率	補助金対象更新設備
びっくり市 酒田店	山形県	1817㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
サンモール 月夜野店	群馬県	1189㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
せんだう 五井金杉店	千葉県	2818㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
A・コープ 白馬店	長野県	4857㎡	1/2	照明・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ファミリーストアさとう 国府店	岐阜県	2044㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
アオキスーパー 植田店	愛知県	1841㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
えぷろん 大林店	愛知県	471㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ヤマダイうばこ店	愛知県	1225㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ぎゅーとら ラブリー藤里店	三重県	2225㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
スーパーサンシこもの繁盛店	三重県	4448㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
エバグリーン 貝塚店	大阪府	2054㎡	1/3	照明・冷凍冷蔵設備
スーパーエバグリーン 阪南店	大阪府	3551㎡	1/3	照明・冷凍冷蔵設備
ビス鷹宮	大阪府	4364㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
COCOMO 春日店	兵庫県	1776㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
ジョイエール御旅	兵庫県	357㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
PAONE 塩屋店	兵庫県	2035㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)
エバグリーン 岩出中迫店	和歌山県	2763㎡	1/3	照明・冷凍冷蔵設備
エバグリーン 御坊店	和歌山県	2713㎡	1/3	照明・冷凍冷蔵設備
エバグリーン 吉備店	和歌山県	1882㎡	1/3	照明・冷凍冷蔵設備
スーパーエバグリーン 湯浅店	和歌山県	2839㎡	1/3	照明・冷凍冷蔵設備
バリユー 平山店	長崎県	898㎡	1/2	照明・空調・冷凍冷蔵設備・EMS(エネマネ)

II.設備単位

店舗名	所在地	建築面積	補助率	補助金対象更新設備
ヤササキ 輪島店	石川県	13301㎡	1/3	空調設備
ヤササキ 新保店B館	福井県	14522㎡	1/3	照明・空調設備

平成31年度「省エネ補助金」概算要求が決定

平成30年8月に省エネ補助金関係の概算要求が発表されました。

工場やスーパーマーケット等の事業所を対象とした、代表的な補助金である経済産業省所管の「エネルギー使用合理化等事業者支援事業」等を含む予算は、下記の通りの要求額となっています。

まだ、決まっていない「平成30年度の補正予算」の内容如何によっては、決定額は変わる可能性があります、いずれにしても以前と同様に、大きな額になると予想されます。

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金

平成31年度概算要求額 **600.4億円 (600.4億円)**

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー課
03-3501-9726

事業の内容	事業イメージ
<p>事業目的・概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場・事業場、住宅、ビルにおける省エネ関連投資を促進することで、エネルギー消費効率の改善を促し、徹底した省エネを推進します。 ① 省エネルギー設備への入替支援 工場等の省エネ設備入替促進のため、対象設備を限定しない「工場・事業場単位」及び申請手続が簡易な「設備単位」での支援を行います。また、複数事業者が連携した省エネ取組についての支援を強化します。 ② ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH：ゼッチ）の実証支援 ZEHの普及目標を掲げたZEHビルダーにより建築されるZEH+（現行のZEHより省エネを更に深掘りするとともに、設備のより効率的な運用等により太陽光発電等の自家消費率拡大を目指したZEH）や集合住宅におけるZEH化の実証を支援します。 ③ ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB：ゼブ）の実証支援 ZEBの設計ノウハウが確立されていない民間の大規模建築物等について、先進的な技術等の組み合わせによるZEB化の実証を支援し、その運用実績の蓄積・公開・活用を図ります。 ④ 次世代省エネ建材等の実証支援 既存住宅における消費者の多様なニーズに対応することで省エネ改修の促進が期待される、工期短縮可能な高性能断熱建材や、快適性向上にも資する蓄熱・調湿材等の次世代省エネ建材等の効果の実証を支援します。 <p>成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 2030年度省エネ見通し（5,030万kl削減）達成に寄与します。 2020年までに新築戸建住宅の過半数のZEH実現と公共建築物におけるZEB実現及び、省エネリフォーム件数の倍増を目指します。 <p>条件（対象者、対象行為、補助率等）</p> <p>補助 (①1/2, 1/3, 1/4 ②戸建：定額 集合：2/3 ③2/3 ④1/2, 1/3)</p> <p style="text-align: center;"> 国 → 民間企業等 → 事業者等 </p>	<p>事業者の省エネ取組を支援</p> <p>① 工場・事業場単位での支援</p> <p>設備更新 エネ事業者の活用による効率的・効果的な省エネ</p> <p>設備単位での支援（例） 業務用給湯器 産業用ヒートポンプ</p> <p>複数事業者が連携した取組 省エネ 事業者A 増エネ 事業者B</p> <p>設備廃止 AとB全体で省エネ</p> <p>製造工程 上工程 下工程 統合・集約 設備導入 半製品の供給</p> <p>ZEH/ZEBとは</p> <p>②、③ 大幅な省エネを実現した上で、再生可能エネルギーにより、年間で消費するエネルギー量をまかなうことを目指した住宅/建築物</p> <p>エネルギーを極力必要としない エネルギーを上手に使う エネルギーを創る</p> <p>暖房 冷房 換気 照明 給湯</p> <p>削減</p> <p>次世代省エネ建材等の実証支援</p> <p>④ 壁紙 断熱パネル 既存壁 調湿材 蓄熱材 工期を短縮して断熱改修 蓄熱や調湿による消費エネルギー低減</p>

INFORMATION

東京ビックサイト・幕張メッセ等で開催される展示会のご案内

2月13日(水)～15日(金)	スーパーマーケット・トレードショー	スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会
2月19日(火)～22日(金)	HOTERES JAPAN 2019	外食・宿泊・レジャー業界に向けた商談専門展示会
2月19日(火)～22日(金)	第19回 厨房設備機器展	セントラルキッチンを含む総合厨房・フードサービス機器の商談専門展示会
3月5日(火)～8日(金)	FOODEX JAPAN 2019	“食”にかかわる最新情報とサービス
3月5日(火)～8日(金)	JAPAN SHOP 2019	店舗装飾材、商空間デザイン、店頭マーケティング等流通業向け総合見本市
3月6日(水)～8日(金)	フランチャイズ・ショー 2019	FC本部やFC関連企業が加盟店・販売代理店・業務提携先を募集する展示会
3月15日(金)～17日(日)	JAPANドラッグストアショー	ドラッグストアとその業界に関連するアジア最大級の展示会

お問い合わせ

STORE EVOLUTION

2019 winter vol.10

株式会社アリガ 広報誌編集室 発行責任者：三宅 耕平
東京都新宿区北新宿4-17-6 アリガビル Tel. 03-3364-2571(代)

<http://www.ariga-grp.co.jp/>

表紙写真：えぶろんリブレ元宮店／びっくり市利府店